

第2編

地域別構想

第1章 富山中央地域

第2章 富山北部地域

第3章 和合地域

第4章 呉羽地域

第5章 富山西部地域

第6章 富山南部地域

第7章 富山東部地域

第8章 水橋地域

第9章 大沢野地域

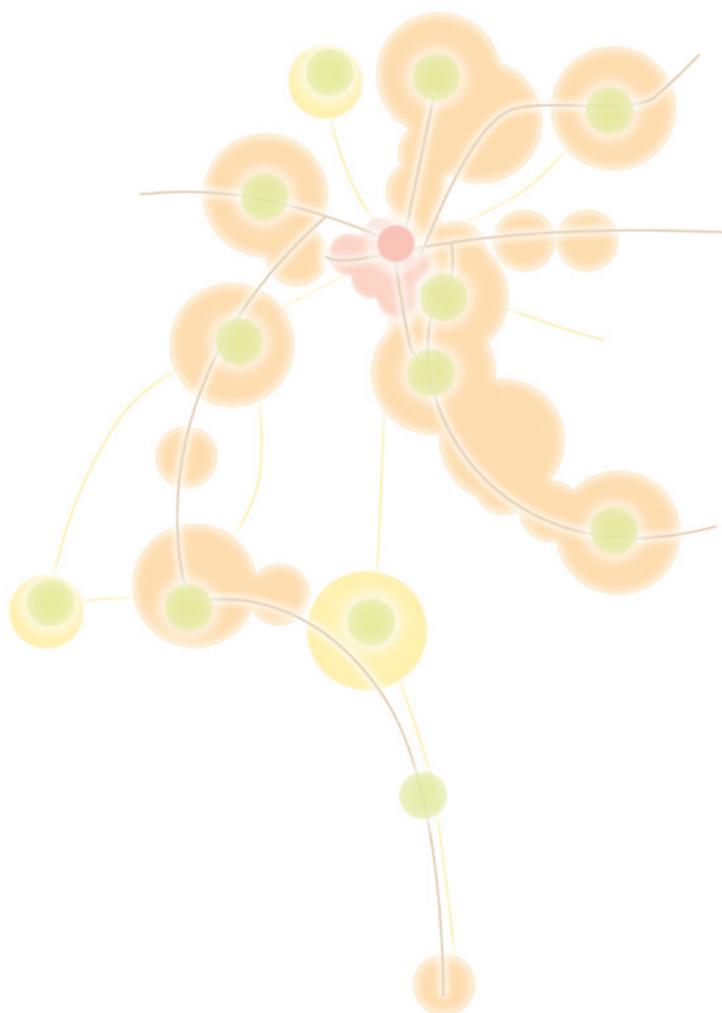
第10章 大山地域

第11章 八尾地域

第12章 婦中地域

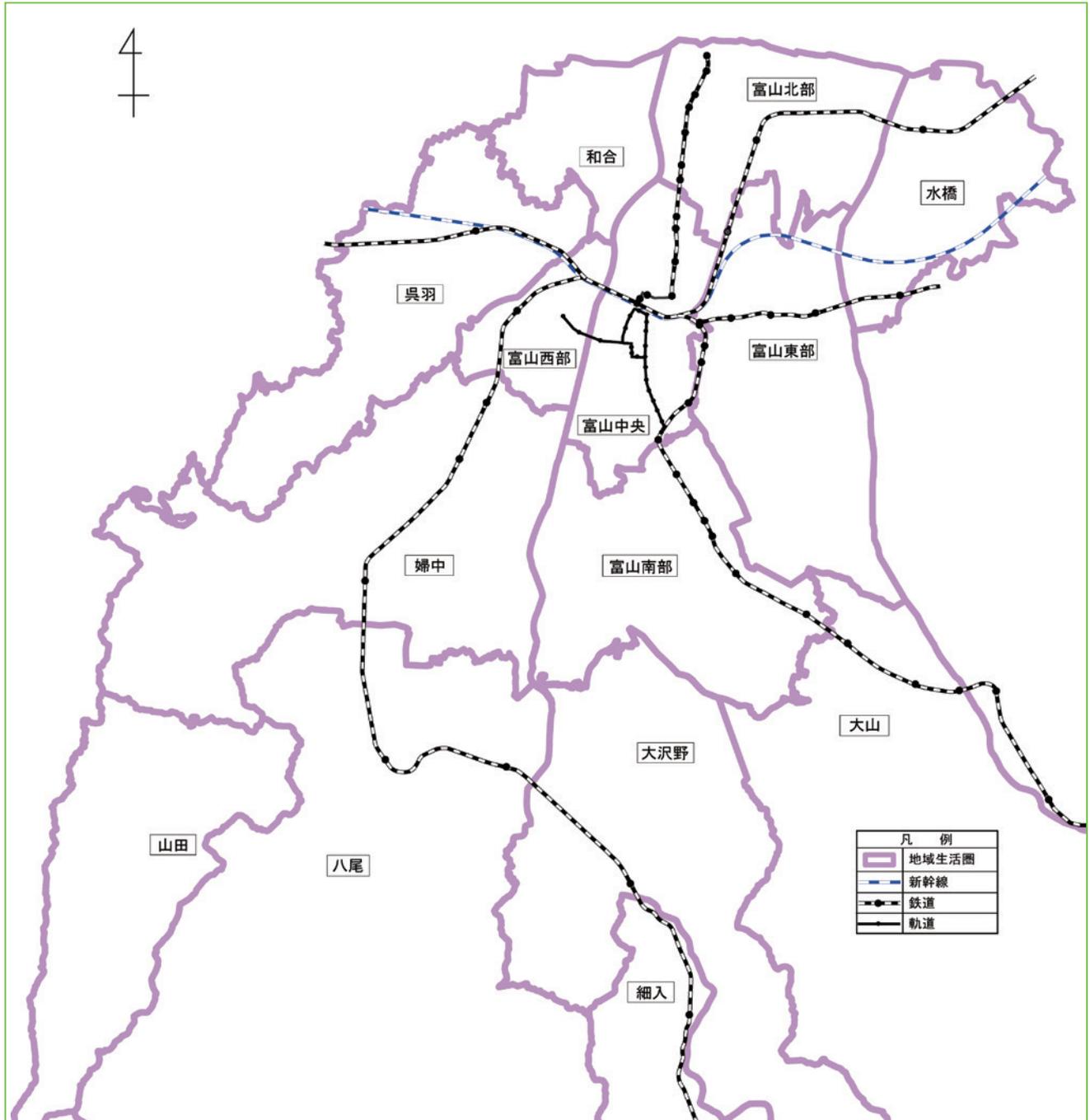
第13章 山田地域

第14章 細入地域



全体構想では各部門別の方針を総合的・体系的に示しました。地域別構想では全体構想との整合を図りながら、市域を14の地域生活圏に区分し、各地域のまちづくりの主要な課題や方針を抽出するとともに、地域のまちづくりを推進するための分野別のまちづくりの方針を示します。

地域生活圏の区分



第1章

富山中央地域

1 まちづくりの主要方針

1 富山駅周辺における交通結節機能の強化及び南北一体的なまちづくり

連続立体交差事業による富山駅付近の在来線高架化に併せて、富山駅周辺における円滑な交通の確保と交通結節機能の強化を図ります。

また、駅前広場や自由通路などの整備により、南北一体的なまちづくりを促進するとともに、県都の玄関口としての機能と魅力を高めます。

2 中心商店街等における再開発の促進及び賑わいの拠点づくり

中心商店街等では、商業施設や住宅などを含む再開発等の促進や、空き店舗・低未利用地の有効活用、憩い・集いの場となる公園・広場空間の整備、集客力のある教育文化機能等の充実、都心部の回遊性を高める公共交通の充実等により、賑わいの拠点づくりを進めます。

3 公共交通の利便性や都市機能のストックを活かしたまちなか居住の推進

市内電車の利便性の向上に併せて、都心住宅の誘導を図るとともに、商業をはじめとした生活関連機能、教育環境、高度な医療・福祉の充実など、居住環境の魅力を高めることにより、多様な住まい方を選択できる、まちなか居住の推進を図ります。

4 水と緑の資源を活かした潤いのある都心空間の形成

都心部の水と緑の資源である松川・いたち川、城址公園、富岩運河環水公園等を活かした憩いの場や、住む人、街を訪れる人が快適に歩くことのできる歩行空間の整備、本市の顔としての景観づくりなどにより、潤いのある都心空間の形成を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none">・富山駅～総曲輪地区は、広域商業地区として位置付け、再開発や中心商店街の整備等を進めながら、中核的な商業施設を誘導するとともに、集客力のある教育文化機能や業務、医療、福祉などの多様な機能を誘導し、まちなかの賑わいや魅力の向上を図ります。また、商業等の生活関連機能の集積を活かしたまちなか居住を推進します。・都心部から放射状に伸びる幹線道路や環状道路である（都）草島東線等の沿道は、沿道商業地区として位置付け、沿道商業機能の適正な立地を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none">・富岩運河西側や下奥井駅東側の既存工業地は、工業地区として位置付けるとともに、将来、土地利用の転換が発生する場合には、周辺を考慮した土地利用の見直しを行います。・富山市公設地方卸売市場周辺は、流通業務地区として位置付け、流通業務に関連した店舗や事業所等の誘導を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none">・地域の北部、南部、神通川沿い等は、住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。・富山ライトレール沿線や南富山駅周辺等は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。・広域商業地区の周辺や富山市公設地方卸売市場の南側等は、複合用途地区として位置付け、商業・業務と居住との調和がとれた住宅地として形成します。・地域の大半がまちなか居住及び公共交通沿線居住の推進地区であり、都心部や公共交通の活性化と併せて居住の推進を図ります。

2 市街地整備の方針

- ・富山駅周辺地区の南北一体的なまちづくりを促進するため、富山駅付近の在来線高架化と併せて、駅前広場、自由通路などの整備を推進し、県都の玄関口にふさわしい都市空間の形成を図ります。
- ・総曲輪地区や中央通り地区をはじめとした再開発等の促進により、大型商業施設のほか、まちなか居住の受け皿となる集合住宅の供給を図ります。

3 交通体系の整備方針

- | | |
|----|--|
| 道路 | <ul style="list-style-type: none">・地域高規格道路である富山高山連絡道路、富山外郭環状道路を整備します。・環状道路網を構成する（都）下新西町上赤江線（西への延伸を含む）や高岡方面と都心部を結ぶ（都）呉羽町袋線等を整備します。・富山駅周辺地区の円滑な交通の確保を図るため、富山駅付近の在来線高架化と併せて、駅の南北を連絡する都市計画道路の整備を推進します。・（都）綾田北代線等での無電柱化を進め、良好な市街地景観を形成します。 |
|----|--|

- ・必要に応じて、歩行者・自転車・自動車が分離された走行空間を確保します。

公共交通

- ・富山駅周辺では、交通結節機能の強化を図るため、路面電車の南北接続や自由通路、駅前広場などの整備を推進します。
- ・市内電車の軌道延伸(丸の内～西町)による環状線化や、「まいどはやバス」の運行の充実により、都心部の回遊性の向上を図ります。
- ・地鉄市内電車の環状運行区間の電停は、重点的にバリアフリー化や上屋設置などを進め、利用者の利便性・快適性の向上を図ります。
- ・南富山駅での乗継機能の強化により、市内電車の上滝線への乗り入れを進め、都心方面へのアクセス性の向上を図ります。
- ・南富山駅では、バスとの連携強化やパーク&ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。

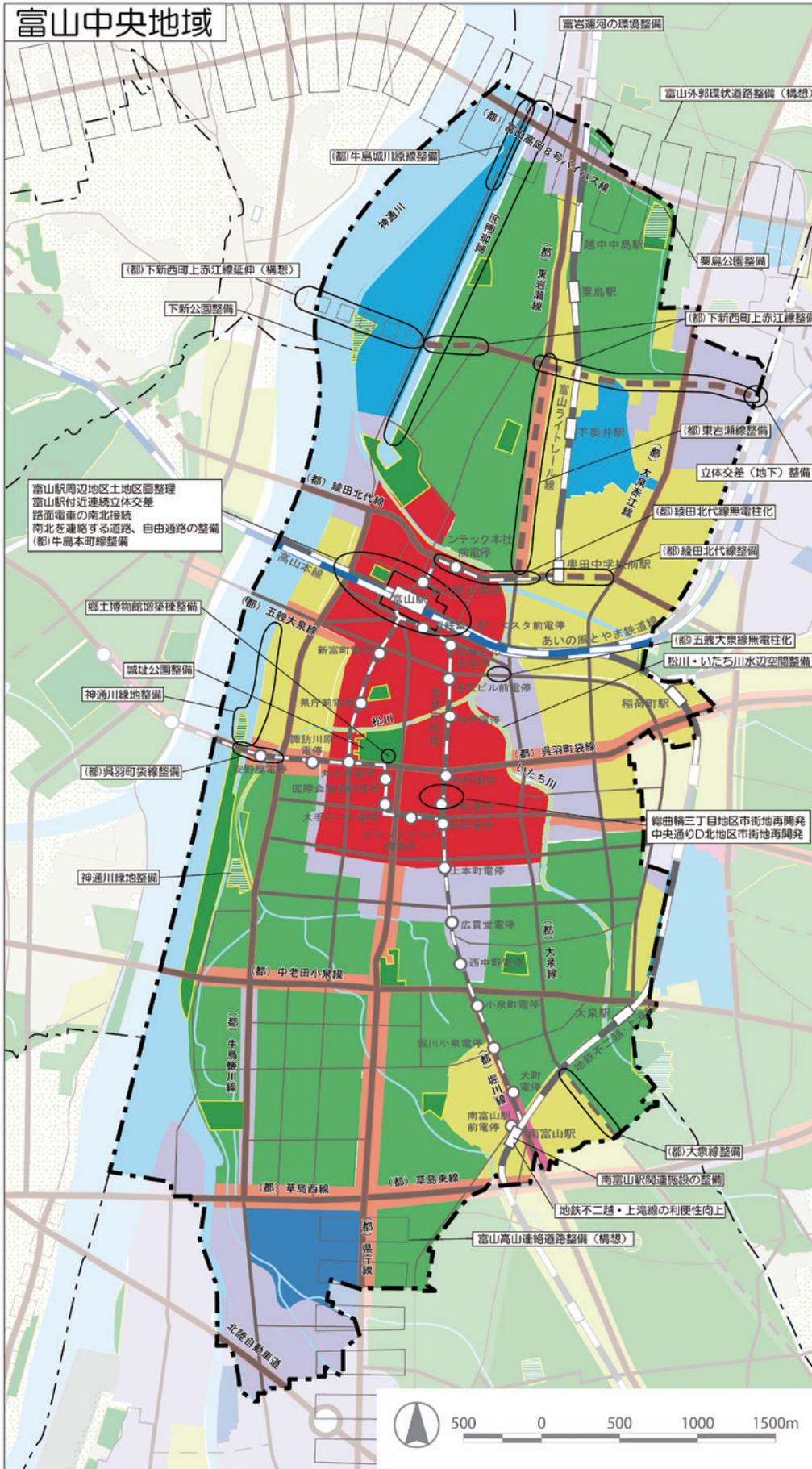
4 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・富山らしさを象徴する歴史、文化、観光の拠点として、城址公園を再整備します
- ・地区公園である栗島公園を整備します。
- ・富岩運河や松川・いたち川的环境整備により、魅力ある水辺空間の形成を図ります。
- ・市民の憩いの場となっている神通川緑地を核として、スポーツ・レクリエーション拠点の形成を図ります。

5 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・都心部において、図書館や、児童館、美術館などの文化施設を充実させ、商業機能と連携した賑わいの創出を図ります。
- ・富山駅周辺及び富山城址周辺は、本市の顔として、街路緑化や歩道舗装の改善、無電柱化、建築物の壁面後退・スカイラインの統一の誘導、建築物や広告物の形態・位置・色彩等の規制などにより、歩いて楽しく、賑わいや活気を感じられる景観の形成を図ります。
- ・介護・保健等の生活支援機能の充実など、まちなか居住や公共交通沿線での生活利便性の向上を図ります。
- ・質の高い住宅建設や良質な住宅取得への支援を図ります。

まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	 広域商業地区
	 地域商業地区
	 沿道商業地区
	 工業地区
	 流通業務地区
	 住宅専用地区
	 住居地区
	 複合用途地区
	 農業保全地域
	 集落地域
	 水面
交通	鉄道
	軌道
	新幹線
	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想: 広域幹線道路)
	(構想: 主要幹線道路)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	都市公園
	(今後整備 ※事業中含む)
	地域区分

第2章

富山北部地域

1 まちづくりの主要方針

1 歴史・文化資源と富山ライトレールを活かした観光等の地域振興

岩瀬大町・新川町通りは、港町街並み拠点として、歴史的街並みを活かした観光客の誘導を図ります。

また、富岩・岩瀬・住友の3運河一帯を「潤いと活気に満ちた魅力あるウォーターフロント」として整備を促進します。

富山ライトレールと富岩運河や岩瀬運河、岩瀬大町・新川町通り、岩瀬カナル会館等を活かした観光客の誘導を図ります。

2 内外貿易港としての富山港の港湾機能の充実

国際拠点港湾に指定されている富山港は、本市の産業・経済活動の一翼を担う内外貿易の拠点港として、海上輸送の多様化など港湾物流を取り巻く環境変化に対応した港湾機能の充実を図ります。

3 エコタウン産業団地を核とした環境産業の振興

地域の振興を図りながら環境と調和したまちづくりを推進するため、環境活動の拠点であるエコタウン交流推進センターの充実を図るとともに、エコタウン産業団地における環境産業の育成を図ります。

4 あいの風とやま鉄道線の活性化に併せた東富山駅周辺の居住環境整備

東富山駅周辺は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、駅関連施設の整備や駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅周辺での居住環境整備を進めます。

5 富山ライトレールの活性化に併せた駅周辺の居住環境整備

富山ライトレール沿線の地域は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、富山ライトレールのサービス水準の向上や駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅周辺での居住環境整備を進めます。

6 岩瀬浜海岸などの海を活かしたレクリエーション拠点の形成

海岸部やその周辺の植生など海岸環境の保全・再生を図るとともに、岩瀬浜海岸など海を活かしたレクリエーション拠点の形成に努めます。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	・ 地域生活拠点である東岩瀬駅周辺は、地域商業地区として位置付け、富山ライトレールの活性化と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	・ 臨海部や運河沿いの既存工業地は、工業地区として位置付け、重化学工業や大規模工場を主体とした産業集積を図ります。また、エコタウン産業団地では、資源循環施設の誘導に努めます。
住宅系	・ 住友運河以南は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・ 住友運河以北は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・ 臨海部等の工業地区の周辺は、複合用途地区として位置付け、生産機能と関連する流通業務やサービス機能と居住との調和がとれた住宅地として形成します。 ・ 公共交通沿線居住の推進地区である富山ライトレール沿線では、富山ライトレールの活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。また、東富山駅周辺では、あいの風とやま鉄道線の活性化と併せた居住環境の整備を行います。
農業・自然系	・ 地域の東部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・ 浜黒崎、田畑、下飯野等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。

2 交通体系の整備方針

道路	・ 地域高規格道路である富山外郭環状道路を整備します。 ・ 富山港の背後地を横断するとともに、富山北部地域を東西に横断する（都）草島東線を整備します。 ・ 臨海工業地帯と都心部を結ぶ（都）東岩瀬線を整備します。 ・ 東富山駅へのアクセス道路として、（都）東富山駅前線を整備します。
----	---

- 公共交通**
- ・ 富山ライトレールは、路面電車の南北接続により、利便性の一層の向上を図ります。また、富山ライトレールに接続するフィーダーバス路線は、今後もサービス水準の維持に努めます。
 - ・ 東富山駅では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。
 - ・ 富山市下富居（下富居～鍋田）地区では、富山操車場跡地の大規模開発にあわせた新駅の整備促進を図ります。
- 港湾**
- ・ 高度な港湾機能を備えた富山外港の整備を関係機関に働きかけるとともに、港湾設備の更新や岸壁の改良など内港の整備を促進します。

3 みどり・レクリエーションの整備方針

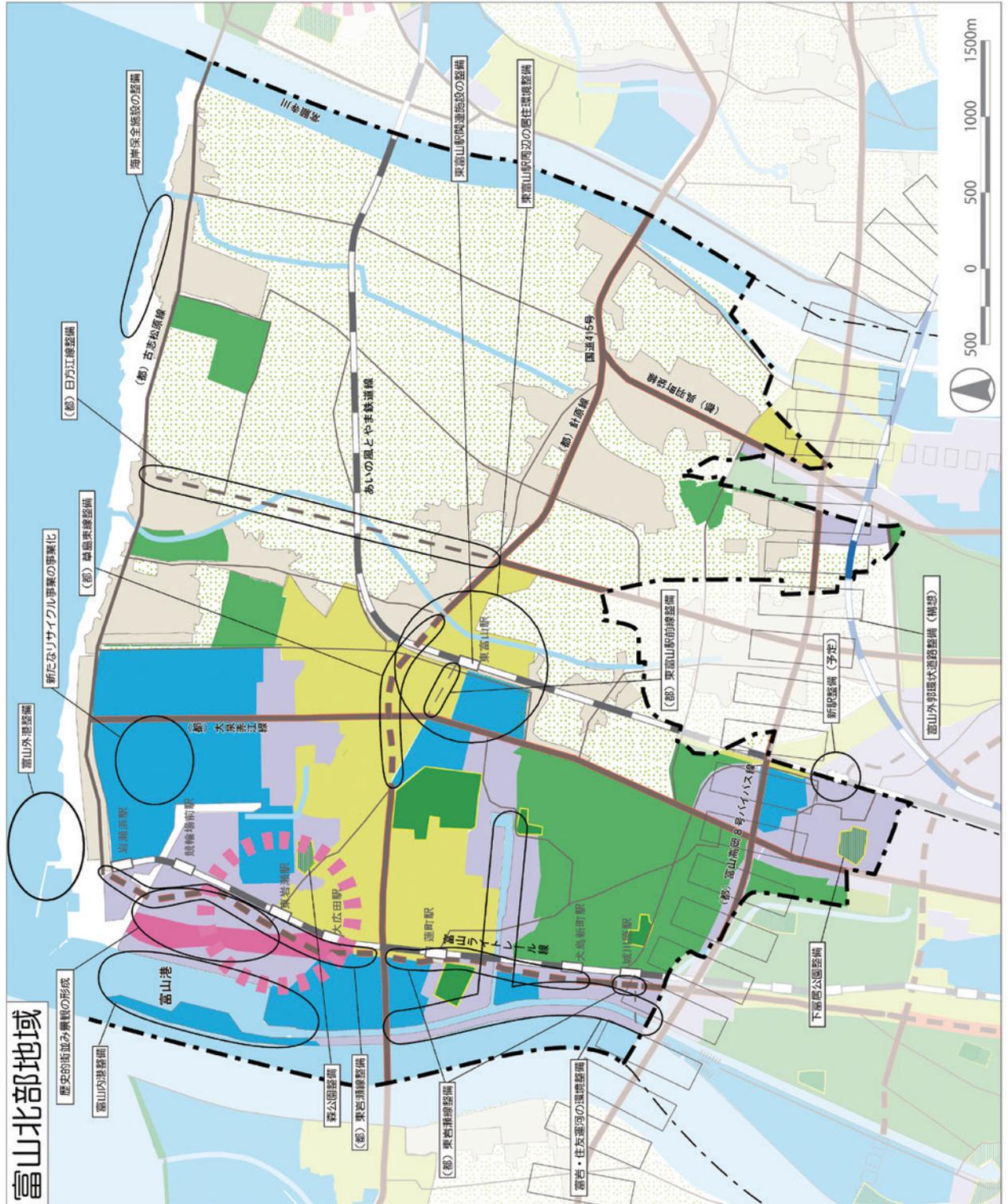
- ・ 近隣公園である森公園や下富居公園を整備します。
- ・ 富岩運河や住友運河では、運河沿いに遊歩道を配置するなど水辺環境を整備します。
- ・ 岩瀬浜や浜黒崎では、海水浴場やキャンプ場などの地域資源を活かしたレクリエーション拠点の形成に努めます。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・ 北陸新幹線整備により分断された市街化区域外縁部では、地区計画による適正な開発の誘導等を図ります。
- ・ 岩瀬大町・新川町通りは、古い街並みや歴史的建造物を活かして、歴史的な街並み景観の形成を図ります。
- ・ 大村・浜黒崎海岸での白砂青松の再生など海岸環境の保全を図るとともに、老朽化が進む離岸堤の改良整備など海岸保全施設を整備します。

まちづくり方針図

富山北部地域



凡例	例
土地利用	地域商業地区
	沿道商業地区
	工業地区
	住宅専用地区
	住居地区
	複合用途地区
	農業保全地域
	集落地域
	水面
	鉄道
	軌道
	新幹線
	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想：広域幹線道路)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	都市公園
公園	(今後整備 ※事業中含む)
拠点	地域生活拠点
境界	地域区分

第3章

和合地域

1 まちづくりの主要方針

1 四方の旧市街地の活性化

四方の旧市街地では、身近な商業をはじめとした生活関連機能の充実を図るとともに、和合コミュニティセンターや四方海浜公園、八重津浜等の地域資源を活かした賑わいの創出を図ります。

2 都心部とのアクセス強化

都心部とのつながりを強化するとともに、周辺地域からの来街を誘導するため、公共交通の維持・充実や幹線道路の整備を進めます。

3 田園環境と調和した定住環境の整備

海浜、河川を身近に親しむことができる環境や市街地周辺の田園環境を活かしながら、道路、公園等の都市基盤の充実による快適な定住環境の整備を図ります。

4 八重津浜海岸などの海を活かしたレクリエーション拠点の形成

海岸部やその周辺の植生など海岸環境の保全・再生を図るとともに、八重津浜海岸などの海を活かしたレクリエーション拠点の形成を図ります。

5 神通川の河川環境の保全とレクリエーション活用

地域の東側を流れる神通川では、地域住民にとって潤いや安らぎの場となる河川環境の形成を図るとともに、レクリエーションの場として河川敷の活用を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	・地域生活拠点である和合コミュニティセンター周辺は、地域商業地区として位置付け、回遊性の向上を図りながら、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	・臨海部の大規模工場や企業団地は、工業地区として位置付け、先端産業等の集積を図ります。
住宅系	・打出地区は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区と、幹線道路沿道は一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、田園環境と調和するとともに、利便性と快適性を兼ね備えた定住環境を形成します。 ・地域商業地区周辺の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・公共交通沿線居住の推進地区である富山ライトレールに接続するフィーダーバス路線沿線は、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。
農業・自然系	・地域の南側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・八幡、八町、金山新等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。

2 交通体系の整備方針

道路	・地域高規格道路である富山外郭環状道路を整備します。 ・都心と連絡する（都）打出線を整備するとともに、地域を横断する道路を整備します。 ・四方の旧市街地では、（都）打出線をはじめとした道路での歩道整備により、歩行者等の回遊性を高めます。 ・和合公園、和合コミュニティセンター、四方海浜公園、八重津浜等の地域資源を回遊できる歩行者ネットワークを形成します。
公共交通	・都心部と四方を連携する既存バス路線や富山ライトレールに接続するフィーダーバス路線は、今後もサービス水準の維持に努めます。

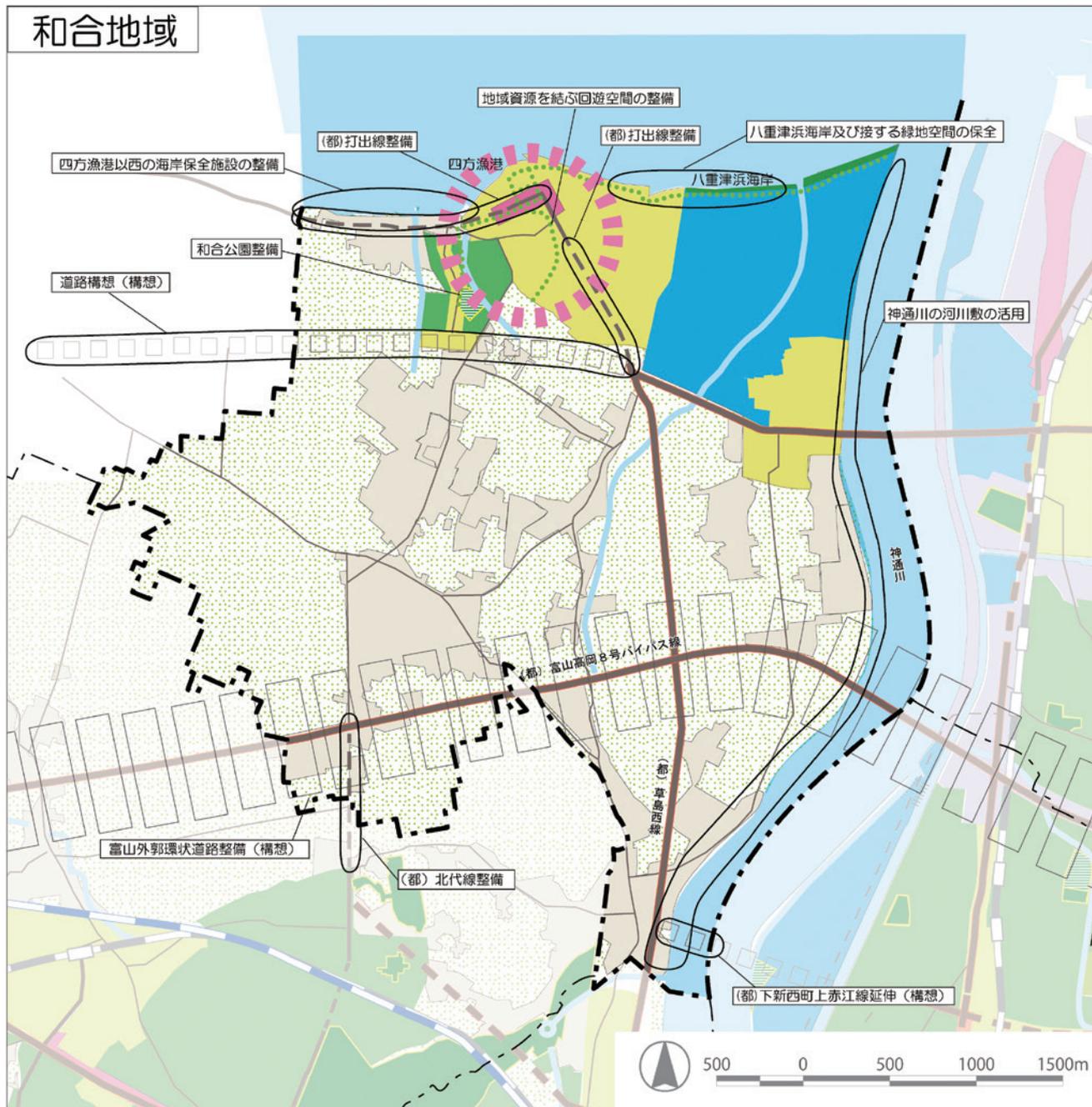
3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・みどりの拠点となる和合公園を整備します。
- ・射水線跡地の歩行者専用道路は、緑豊かな緑地空間としての活用を図ります。
- ・八重津浜海岸及び海岸に接するクロマツ群落の一体的な保全を図ります。
- ・四方漁港以西の海岸では、海岸保全施設の整備や白砂青松の再生などにより、地域住民が海に親しめる海岸

として整備します。

- ・神通川の河川敷では、河川環境の保全を図るとともに、野鳥観察などレクリエーションの場としての活用を進めます。

まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	地域商業地区
	沿道商業地区
	工業地区
	住宅専用地区
	住居地区
	複合用途地区
	農業保全地域
	集落地域
水面	

交通	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	(構想: 広域幹線道路)
	(構想: 主要幹線道路)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	地区幹線道路
公園	都市公園
	(今後整備 ※事業中含む)
拠点	地域生活拠点
境界	地域区分

1 まちづくりの主要方針

1 あいの風とやま鉄道線の活性化に併せた駅周辺の居住環境整備

あいの風とやま鉄道線の駅周辺は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、駅関連施設の整備や駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅周辺での居住環境整備を進めます。

2 公共交通軸となるバス路線の活性化に併せた生活関連機能の充実

都心部と連絡するバス路線である（主）富山高岡線沿いは、公共交通沿線での居住を推進する地区として、バス利用の快適性の向上など活性化と併せて、身近な商業をはじめとした生活関連機能の充実を進めます。

3 呉羽丘陵を活かしたレクリエーション拠点の形成

呉羽丘陵は、緑地環境や自然景観、生態系の保全に十分に配慮しながら、自然を活かした交流機能の充実により、市民が自然に身近に親しむことができるレクリエーション拠点の形成を図ります。

4 市民芸術創造センターを核とした芸術文化拠点の形成

市民の芸術文化創作活動の拠点である市民芸術創造センター周辺では、芸術文化をテーマとした地域の「顔」づくりや、芸術文化関連施設と調和した住宅地の形成、商業機能と連携した賑わいの創出により、市民芸術創造センターを核とした芸術文化拠点の形成を図ります。

5 富山西ICを活かした産業機能の誘導

北陸自動車道の富山西IC周辺では、高速交通条件を活かして、運輸業や卸売業などの物流関連産業や、本市の主要な産業の1つであるものづくり産業の誘導を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活拠点である呉羽駅南周辺では、公共交通軸である（主）富山高岡線沿道を地域商業地区として位置付け、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸自動車道の富山西IC周辺は、工業地区として位置付け、呉羽南部企業団地を拡張し、先端技術を用いた製造工場や流通業務施設の立地を誘導します。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉羽駅南周辺を除く市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・ 呉羽駅南周辺は、住居地区として位置付け、市民芸術創造センター等の公共公益施設や駅周辺の商業施設と調和した住宅地として形成します。 ・ あいの風とやま鉄道線と（主）富山高岡線が交差する地区周辺は、複合用途地区として位置付け、沿道施設と住宅との調和を図ります。 ・ 公共交通沿線居住の推進地区である呉羽駅周辺では、あいの風とやま鉄道線の活性化と併せた居住環境の整備を行います。（主）富山高岡線の沿道では、バス路線の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地を囲む農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。また、地域を特徴づける農園の保全を図ります。 ・ 中老田、東老田、吉作等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。

2 交通体系の整備方針

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域高規格道路である富山外郭環状道路を整備します。 ・ （主）富山高岡線の混雑緩和に寄与するとともに、都心部と連絡する（都）綾田北代線を整備します。 ・ （都）草島西線以西の南北方向の幹線道路として、（都）北代線を整備します。 ・ 高岡方面と連絡するとともに、（主）富山高岡線と（主）富山小杉線間の東西方向の幹線道路として、（都）東老田高岡線を整備します。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉羽駅では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。 ・ あいの風とやま鉄道線の呉羽駅以西においては、北陸新幹線開業（あいの風とやま鉄道線の経営がJRから分離）を契機に、新駅の設置も含めたサービス水準の充実を検討します。 ・ 都心部と連絡するバス路線（（主）富山高岡線）は、公共交通軸として、バス停上屋の設置等の充実を進め、活性化を図ります。

3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・呉羽丘陵では、周遊散策路やファミリーパークの再整備、「呉羽丘陵フットパス」をはじめとした、森林を活かしたレクリエーション拠点の形成を図ります。整備にあたっては、里山環境やホクリクサンショウウオをはじめとした生物の生息環境の保全に十分配慮します。
- ・また、北代緑地、北代縄文広場、都市緑化植物園のネットワーク化による利用促進を図ります。

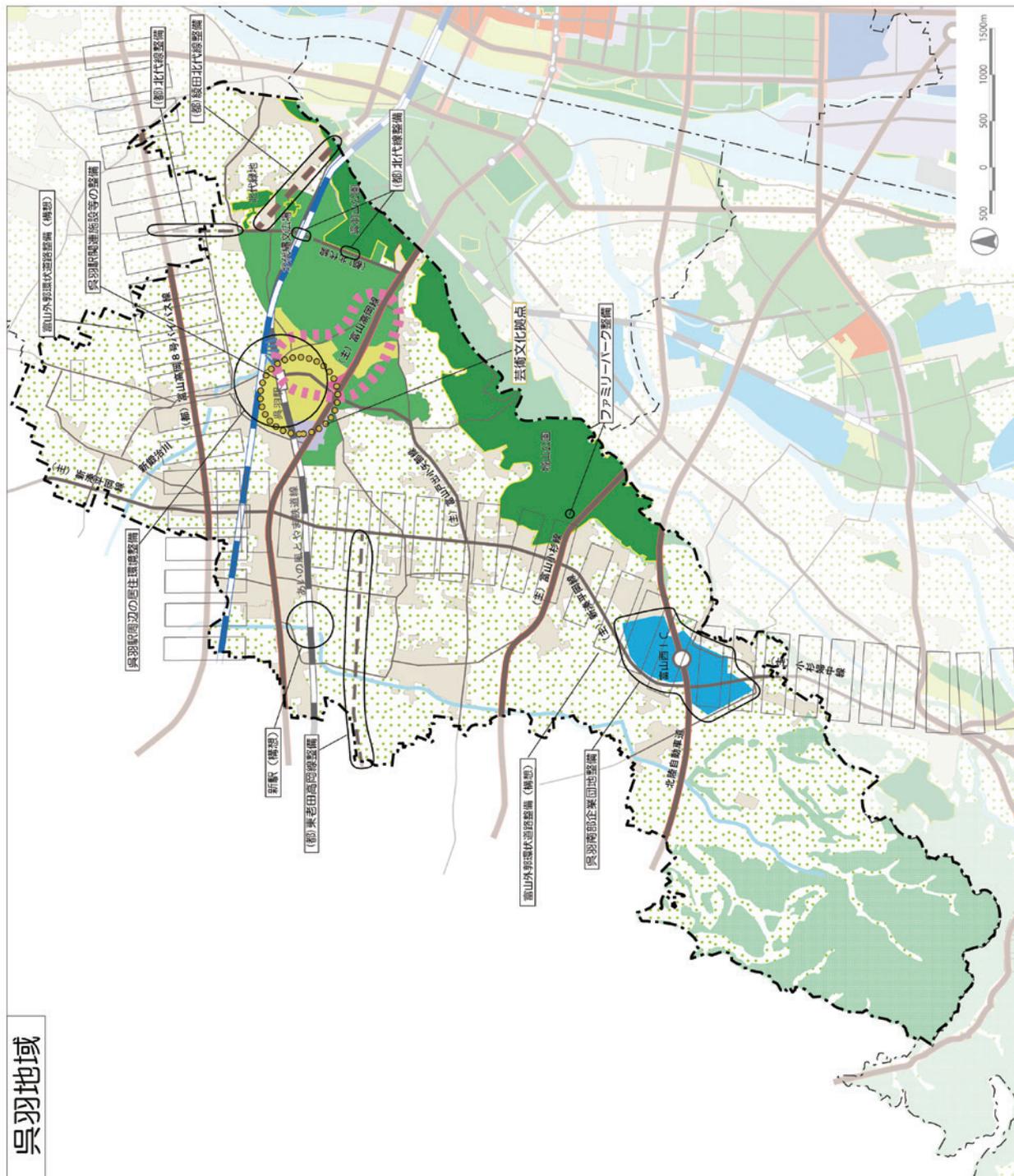
4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・呉羽丘陵及びその周辺は、建築の規制など秩序ある土地利用により、良好な緑地景観の保全を図ります。
- ・（主）富山高岡線と呉羽駅を結ぶ区間は、隣接する市民芸術創造センターの立地を活かし、芸術文化の拠点にふさわしい景観誘導を図ります。
- ・新鍛冶川では、治水機能の向上を図ります。

まちづくり方針図

呉羽地域

凡	例
土壌利用	<ul style="list-style-type: none"> 広域農業地区 地域農業地区 沿道農業地区 工業地区 流通業務地区 住宅専用地区 住居地区 複合用途地区 農業安全地域 集落地域 森林環境保全地域 水面
交通	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道 新幹線 広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想：広域幹線道路) (構想：主要幹線道路) 幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) 地区幹線道路 都市公園
公園	<ul style="list-style-type: none"> 公園 (今後整備 ※事業中含む)
拠点	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活拠点
境界	<ul style="list-style-type: none"> 地域区分
河川改修	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修



1 まちづくりの主要方針

1 市内電車の活性化に併せた多様な世代の居住誘導

市内電車沿線の地域は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、市内電車のサービス水準の向上や電停へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、電停周辺での快適な居住環境の形成により、多様な世代の居住誘導を図ります。

2 JR高山本線の活性化に併せた西富山駅周辺の居住環境整備

西富山駅周辺は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、駅関連施設の整備や駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅周辺での居住環境整備を進めます。

3 広域的な学術文化及び産学官連携の交流拠点の形成

富山大学や産業支援施設の立地を活かして、学術文化交流や産学官連携の促進を通じた新産業支援センターの機能充実を図ります。

4 呉羽丘陵を活かしたレクリエーション拠点の形成

呉羽丘陵は、緑地環境や自然景観、生態系の保全に十分に配慮しながら、自然を活かした交流機能の充実により、市民が自然に身近に親しむことができるレクリエーション拠点の形成を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活拠点である富山大学周辺は、市内電車沿線を地域商業地区として位置付け、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。 ・ (都) 五艘大泉線、(都) 呉羽町袋線の沿道のうち、環状道路である(都) 草島西線以東は、沿道商業地区として位置付け、沿道商業機能の立地の適正化を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金屋企業団地は、富山西ICへの近接性を活かした工業地区として位置付け、運輸業や卸売業などの集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいの風とやま鉄道線以南の市街地は、住宅専用地区として位置付け、JR高山本線の南側では、学生アパートなどの集合住宅を含む良好な低中層住宅地として形成します。西富山駅西側では、寺町けやき台団地など戸建住宅を主体とした住宅地として、良好な住環境の形成を図ります。 ・ あいの風とやま鉄道線以北の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・ 公共交通沿線居住の推進地区である市内電車沿線は、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。また、西富山駅周辺では、JR高山本線の活性化と併せた居住環境の整備を行います。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の南部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食い的な農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・ 金屋、久郷、下野等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。

2 交通体系の整備方針

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部及び婦中方面と連絡する(都) 金屋線を整備します。 ・ 市街地の骨格となるとともに、西富山駅へのアクセス道路となる(都) 寺町線を整備します。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内電車は、路面電車の南北接続や運行本数の増加等による、さらなる利便性の向上を図ります。 ・ 大学前電停では、上屋の設置や駐輪場の整備による利用圏の拡大を図ります。また、西富山駅での駅関連施設の整備を図ります。

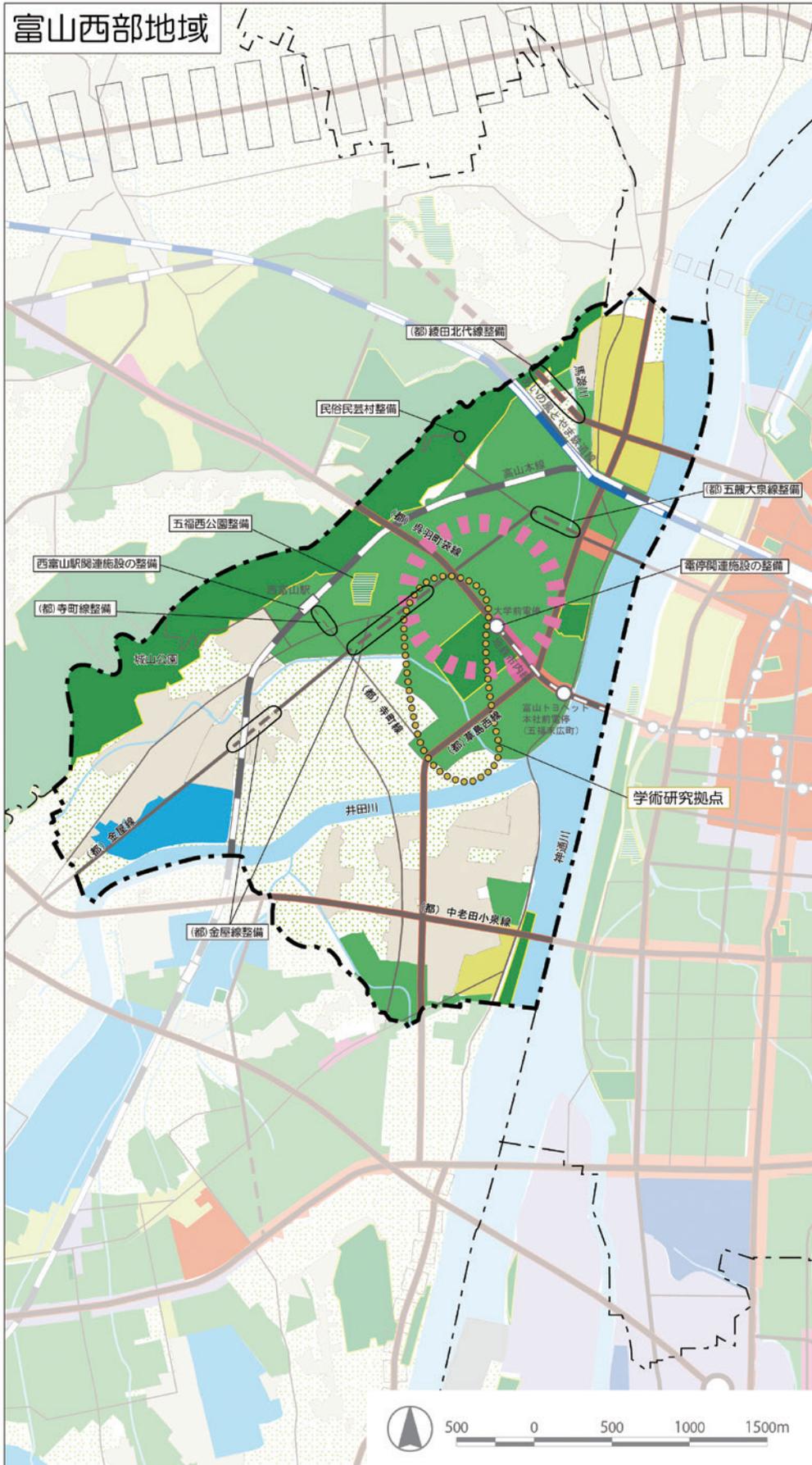
3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・近隣公園である五福西公園を整備します。
- ・呉羽丘陵では、周遊散策路や歴史・文化の学習の場である民俗民芸村の充実により、「呉羽丘陵フットパス」をはじめとした、森林を活かしたレクリエーション拠点の形成を図ります。整備にあたっては、里山環境やホクリクサンショウウオをはじめとした生物の生息環境の保全に十分配慮します。
- ・市民の憩いの場となっている神通川緑地を核として、スポーツ・レクリエーション拠点の形成を図ります。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・富山大学では、五福キャンパス内に設置した新産業支援センターにおいて、ベンチャー企業や創業者への支援の充実を図ります。
- ・呉羽丘陵及びその周辺は、建築の規制など秩序ある土地利用により、良好な緑地景観の保全を図ります。
- ・馬渡川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。

まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	広域商業地区
	地域商業地区
	沿道商業地区
	工業地区
	流通業務地区
	住宅専用地区
	住居地区
	複合用途地区
	農業保全地域
	集落地域
交通	水面
	鉄道
	軌道
	新幹線
	主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
公園	都市公園
	(今後整備 ※事業中含む)
拠点	地域生活拠点
	学術研究拠点
境界	地域区分

1 まちづくりの主要方針

1 南富山駅の交通結節機能の充実に併せた駅前商店街等の充実

南富山駅周辺は、市内電車と地鉄不二越・上滝線の乗継機能の強化や、駅関連施設の整備、駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅前商店街を中心に身近な商業をはじめとした生活関連機能の充実に図ります。

2 地鉄不二越・上滝線の活性化に併せた沿線の居住環境整備

地鉄不二越・上滝線沿線の地域は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、地鉄不二越・上滝線のサービス水準の向上など活性化と併せて、駅周辺での居住環境整備を進めます。

3 都市基盤の整備による良好な市街地環境の形成

市街地の骨格を形成する道路や、地域住民の憩い、レクリエーションの場となる公園の整備等により、良好な市街地環境の形成を進めます。

4 富山空港や富山IC周辺の都市機能の充実

富山空港及び北陸自動車道富山ICの周辺では、高速交通条件を活かし、流通業務や住宅等が調和した複合的な土地利用の誘導を図るとともに、多様な交流を促進する都市機能の充実に図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点である南富山駅周辺の駅前商店街及び（都）堀川線沿道は、地域商業地区として位置付け、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。 ・（都）草島東線沿道は、沿道商業地区として位置付け、沿道商業機能の立地の適正化を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・（都）県庁線（国道41号）沿道のとやまオムニパークは、交通利便性を活かした工業地区として位置付け、異業種交流のモデル団地として形成します。 ・富山IC周辺の富山流通団地や富山トラック輸送センターは、流通業務地区として位置付け、流通業務に関連した店舗や事業所等の誘導を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・（都）県庁線（国道41号）以東の市街地や珠泉、月岡等の住宅団地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・地鉄不二越・上滝線沿線は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・富山IC周辺や富山空港の周辺は、複合用途地区として位置付け、流通業務と居住が調和した住宅地として形成します。富山空港周辺は、区画整理により、住宅地を中心に一部流通機能を含む複合的な土地利用を誘導します。 ・公共交通沿線居住の推進地区である地鉄不二越・上滝線沿線やバス路線（国道41号等）沿道は、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の南部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・布市、新保、安養寺等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。

2 交通体系の整備方針

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路である富山高山連絡道路、富山外郭環状道路を整備します。 ・都心部と連絡するとともに、市街地の骨格となる道路として、（都）大泉線や（都）西荒屋黒崎線等を整備します。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・南富山駅での乗継機能の強化により、市内電車の上滝線への乗り入れを進め、都心方面へのアクセスの向上を図ります。 ・南富山駅では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。 ・都心部と連絡するバス路線（国道41号等）は、公共交通軸として、バス停上屋の設置等の充実を進め、活性化を図ります。

- 空 港** ・富山空港は、新規の国内・国際路線の開設に向けた取り組みを促進するとともに、現在の施設を最大限活用した空港整備を促進します。

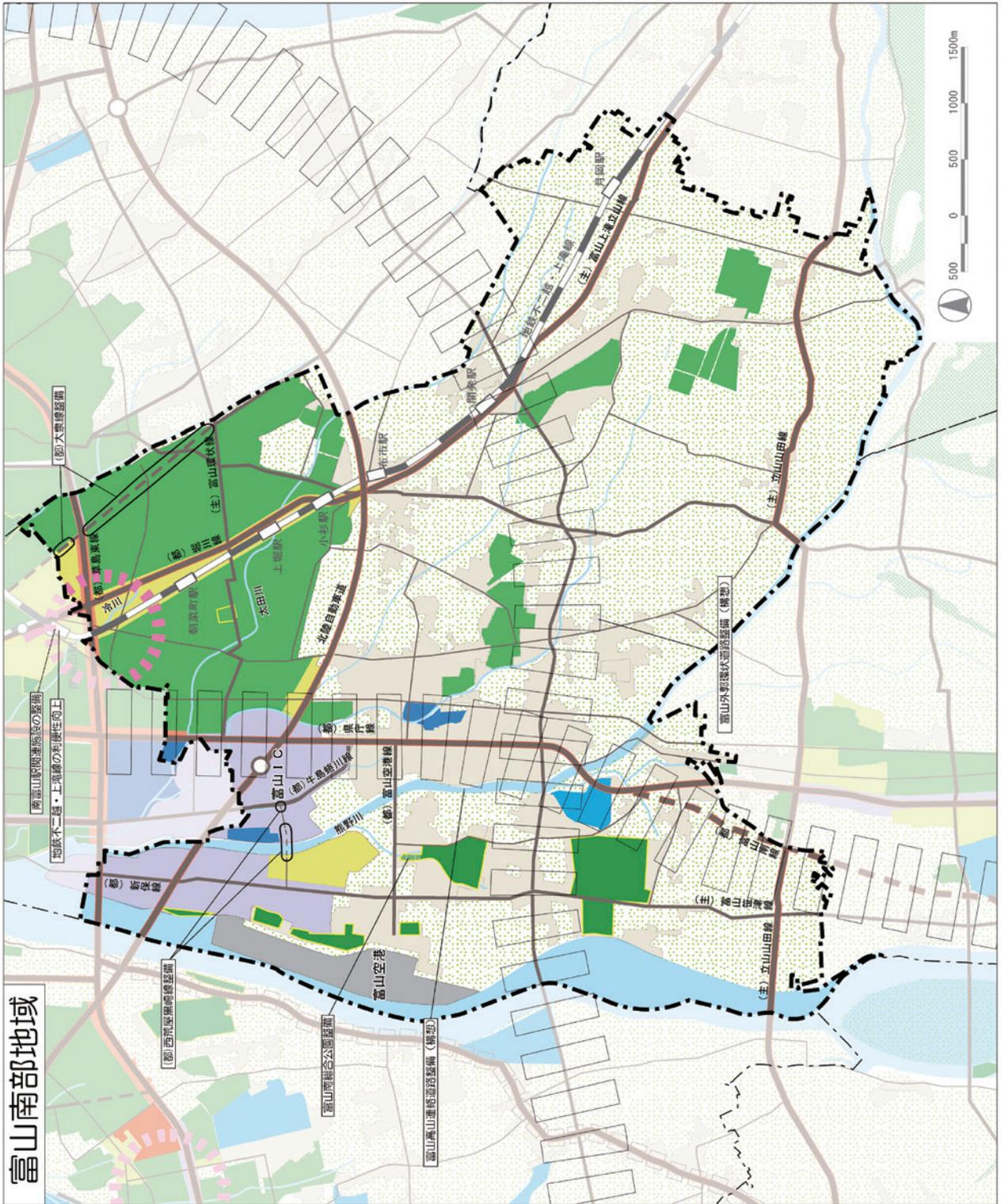
3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・みどりの拠点及びスポーツ活動を主体としたレクリエーション拠点として、富山南総合公園を整備します。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・冷川、太田川、熊野川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・富山産業展示館は、近年のイベント規模の大型化に対応する展示交流施設の充実を図ります。

まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	広域商業地区
	地域商業地区
	沿道商業地区
	工業地区
	流通業務地区
	住宅専用地区
	住居地区
	複合用途地区
	商業供全体域
	集落地域
	水面
	鉄道
交通	広域幹線道路、主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想：広域幹線道路)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	空港
公園	都市公園 (今後整備 ※事業中含む)
施設	地域生活拠点
境界	地域区分